

「名詞+ある」の造語力

塚脇 幸代

s-tsuka[at]dream.ocn.ne.jp

概要

「魅力ある製品」、「気品あるたたずまい」などの表現に見られる、「名詞+ある」で構成される修飾要素について、新聞記事コーパスにおける出現状況を調査した。結果、数十種類の「名詞+ある」を検出した。

はじめに

「活力ある政治」「勇気ある行動」などに見られる「ある」とは何者であろうか。形は動詞「ある」と同じで意味も同じであるように見える。しかしその振る舞いは形容詞に似ており、文の要素として興味深い。このような「名詞+ある」の形で修飾要素となる表現を拾ってみた。

1. 方法

「日英新聞記事対応付けデータ(JENAAD)」(Utiyama and Isahara, 2003)の日本語文から文字列「ある」を含む文を抽出。動詞(V)、助動詞の一部(AUX)等に分類し、その前接要素を抜き出した。動詞(V)のうち、名詞が直接前接し、後要素の修飾要素となる場合には仮に形容詞化接辞としてSSAを付与した。(表1)

品詞	品詞タグ	表現例	前接要素
動詞	V	責任がある	責任
連体詞	RT	ある程度	
接続詞の一部	CZ	あるいは	
助動詞の一部	AUX	責任問題である 責任問題となりつつある	責任問題 なり
形容詞化接辞	SSA	責任ある	責任

表1：品詞タグと表現例

以下に作業例を示す。接続詞(CZ)と助動詞の一部(AUX)については前接要素・後接要素の抜き出しは任意とする。

番号	日本語テキスト	表現キー	品詞タグ	前接要素	後接要素
6985	マリア会は一八一七年に創始され、ローマに 本拠地がある 。	がある	V	本拠地	。
160	「クーデターは革命 あるいは 改革の手段であって、国家、国民の将来を考えてなされる場合も少なくない」と正当性を強調している。	あるいは	CZ		
74	〈臭素化ダイオキシン〉 臭素化ビフェニル、臭素化ジフェニルエーテルなどの難燃剤が ある一定の温度 で燃焼する時に発生する。	ある	RT	が	一定の温度
108	「いつまでも沈黙を守っていると、日本だけが 不公正な国である かのような印象を与える。そこで、こちらも」と、日本版の報告書が誕生したとみてよい。	である	AUX	国	かのような
348	「威信」を求める時代の空気が 高まりつつある 結果ではないか。	つつある	AUX	高まり	結果
133	「なにもしない」ことによる国際的孤立化の 危険 や日米関係悪化の可能性に触れないのも、国民に対し 責任ある態度 ではない。	ある	SSA	責任	態度

表2：作業例

作業結果から形容詞化接辞(SSA)とその前接要素を抽出した。

2. 結果

「名詞+ある(形容詞化接辞 SSA)」表現の種類と出現頻度は以下表3のごとくであった。

新聞記事という特定の分野であること、記事の内容により、高頻度に使われる表現に偏りがあることを念頭に置くべきであって、出現頻度の多さそれすなわち表現の重要性につながらないことに留意されたい。実際、本稿の冒頭の例「気品ある」は出現していない。

Rank	名詞+ある	出現数
1	責任ある	120
2	実効ある	40
3	魅力ある	20
4	秩序ある	19
5	活力ある	16
5	実りある	16
7	勇気ある	12
8	説得力ある	11
8	特色ある	11
10	誠意ある	7
11	意欲ある	6
11	節度ある	6
13	意義ある	5
13	意味ある	5
15	実効性ある	4
15	名誉ある	4
15	均衡ある	4
15	限りある	4
19	才能ある	3
19	競争力ある	3
19	ゆとりある	3
19	バランスある	3
23	調和ある	2
23	効果ある	2
23	迫力ある	2
23	価値ある	2
23	思慮ある	2
23	興味ある	2
23	能力ある	2
23	良識ある	2
23	品格ある	2
23	活気ある	2
23	権威ある	2
34	伝統ある	1
34	分別ある	1
34	熱意ある	1
34	数ある	1
34	見識ある	1
34	正義感ある	1
34	内実ある	1
34	自覚ある	1
34	情緒ある	1
34	形ある	1
34	教育ある	1
34	責任感ある	1
34	将来性ある	1
34	個性ある	1
34	威厳ある	1
34	実行力ある	1
34	内容ある	1
34	躍動感ある	1
34	常識ある	1
34	友情ある	1
34	心ある	1
34	理念ある	1
34	包容力ある	1
34	実態ある	1
34	地位ある	1
34	命ある	1
34	権限ある	1
34	規律ある	1
34	先見性ある	1
34	由緒ある	1
34	前途ある	1
34	裏付けある	1
34	創意ある	1
34	即効性ある	1
34	人気ある	1
	総計	379

表3：名詞+ある

次に上記「名詞+ある」に後接する表現を示す。表4に最も出現頻度が高い「責任ある」の例を挙げる。「責任ある」の被修飾要素に当たる。

責任ある	出現数	自由	3	指導者たち	1	考え	1	政府	1
政治	12	対案	2	防衛論議	1	協力	1	防衛政策	1
一員	12	発言	2	言論	1	論評	1	体制	1
対応	8	姿勢	2	国家	1	中道勢力	1	現実的な政策	1
変革	8	野党	2	将来計画	1	活動	1	決定	1
行動	8	やり方	2	日中関係	1	内外政策	1	立場	1
態度	7	政治家	2	世界戦略	1	経済対策	1	政策提言	1
政策	7	対処	1	保守政党	1	国際社会の一員	1	ポスト	1
大国	6	発言と行動	1	公的立場	1	政治勢力	1	政策論戦	1
役割	5	統治	1	機関	1	形	1	総計	120

表4：「責任ある」に後接する表現

3. 考察と議論

一般的に「名詞＋ある」という表現に特別な品詞カテゴリは与えられていない。辞書に用例としては載っているが、見出しにはならない。形態的に「名詞＋が＋ある」や「名詞＋の＋ある」が省略された形であるという説明で納得させられる。助詞の省略はごく普通の現象であり、その説明に違和感はない。表5の通り、「名詞＋ある」の形の他に「名詞＋の＋ある」または「名詞＋が＋ある」という形も併せて出現する。

名詞	助詞	ある	品詞タグ	出現数
責任	が	ある	V	94
責任	φ	ある	SSA	120
責任	の	ある	V	2
意味	が	ある	V	44
意味	の	ある	V	22
意味	φ	ある	SSA	5
効果	が	ある	V	57
効果	の	ある	V	9
効果	φ	ある	SSA	2
説得力	が	ある	V	4

説得力	の	ある	V	22
説得力	φ	ある	SSA	11
意義	が	ある	V	25
意義	の	ある	V	1
意義	φ	ある	SSA	5
魅力	が	ある	V	4
魅力	の	ある	V	2
魅力	φ	ある	SSA	20
活力	が	ある	V	3
活力	の	ある	V	2
活力	φ	ある	SSA	16

表5：助詞「が」「の」の出現状況

また、被修飾要素となる後接要素との関係についても、格要素のない連体修飾節と被修飾要素という説明で事足りる。しかしながら、「名詞＋ある(SSA)」と「名詞＋が＋ある」、「名詞＋の＋ある」は以下のような相違点が観察される

1) 「名詞＋が＋ある」の名詞は修飾要素を持つことができるが、「名詞＋ある(SSA)」の名詞には修飾要素をつけることができない。
1c) の「安定した」は「責任」自体ではなく、「体制」にかかっている。

1a) いずれにしても、村山首相・連立与党は、できるだけ早く解散・総選挙により国民の信を問う責任がある。

1b) 信用組合の監督・指導に第一義的な責任がある部には、前向きな判断を求めたい。

1c) ただ、海面上昇や梅雨、台風といった生活に重要な影響のある要素について予測できないことが問題である。

1d) 新しい政治システムは、あくまで安定した責任ある体制でなければならない。

2) 「名詞＋が＋ある」または「名詞＋の＋ある」の「ある」は「名詞」の他に明示された格助詞を持つ格要素をとれるが、「名詞＋ある(SSA)」の「ある」は明示された格助詞を持たない。

2a) こうした欠陥に対し、禁止や制限措置など具体的な正策で各党に大きな異論があるとは思えない。

2b) こうした参入促進策で特色ある金融機関が生まれ、利用者の選択肢を増やすことが狙いだ。

上の2点を基準に「ある」の分類を行うと、おおむね修飾要素をつくる「ある」を区別できるが、「名詞＋ある」の名詞の種類によっては修飾要素とならない例もある。(図1)

ことあるごとに	慣用句
一理あるが、	動詞
事あるごとに	慣用句
察するにあまりある	慣用句
大勢に影響ある問題	動詞、格要素あり
機会あるごとに	後接要素が限定的
間違いあるまい	否定の助動詞が後接形
仕方あるまい	否定の助動詞が後接形
事件と関係ある	動詞、格要素あり

図1：修飾要素にならない「名詞＋ある」

4. 一般化の問題

本稿では動詞「ある」を形容詞化接辞(SSA)の役割を果たす語として仮定した。さらに「名詞＋ある」の形を修飾要素、すなわち形容詞相当の語彙と認めることは可能であろうか。

「名詞＋動詞」のパターンに、「サ変名詞＋する」がある。「サ変名詞＋を＋する」のように、間に助詞が入るところは「名詞＋ある」と同じである。「サ変名詞＋する」の場合は、サ変名詞というグループに「する」が接続することにより動詞化するという一般化が可能であった。「名詞＋ある」の場合はどうか。

前掲表 3 の例を見ると、名詞の部分に直ちに共通項を見いだすことは難しそうである。どちらかといえば抽象物を表す名詞がほとんどであるというぐらいである。「トマトある」「食べ物ある」は不可能だが、「愛ある」「人間味ある」などは可能である。どの範囲の名詞が形容詞化の候補となるのか、見極めは容易ではなさそうである。

それでは表 4 にある被修飾要素との関連はどうか。動詞「ある」を含む連体修飾節と同様の意味的關係を見いだすことができたとして、それでは連体修飾節と区別ができない。連体修飾節の格要素や名詞に対する修飾要素の存在をある程度考慮する必要があるかも知れない。

おわりに

動詞を含む表現が、格要素を失って修飾要素となる例は他にもある。「歩いて学校に行く」の「歩いて」は「行く」を修飾する様態表現である。しかし文字列「歩いて」は副詞として辞書の見出しにはならない。文構造の中でその役割を変えていく例である。「名詞＋ある(SSA)」も、そうした例の一つである。

参考文献

- [1] Masao Utiyama and Hitoshi Isahara. (2003). Reliable Measures for Aligning Japanese-English News Articles and Sentences. ACL-2003, pp. 72--79